

いくしゅうは

太宰府市社会福祉協議会

共に暮らし 共に創り 支え合う“福祉のまちづくり”



「車いすの安全安心を支えます!」 —筑紫台高校自動車科の皆さんによる車いす点検—

今月の表紙

太宰府市身体障害者福祉協会による歳末たすけあい募金配分事業「何でも話そう交流会」の一環として毎年実施されています。本会の貸出用車いすも一台一台丁寧に点検・整備をしていただきました。太宰府市身体障害者福祉協会の皆さん、筑紫台高校の皆さん、ありがとうございました。

なお、同じく「何でも話そう交流会」の一環である「太宰府障がい者ボッチャ交流会」については9ページをご覧ください。

トピックス

- ◆出前相談のご案内(P2)
- ◆介護のふれあい会のご案内(P4)
- ◆老人福祉センター「いきいき元気健康体操」のご案内(P7)



この広報誌は共同募金の配分金及び賛助会費で作成されています。(赤い羽根は共同募金運動・配分事業のシンボルマークです。) 社協だよりの音声テープの貸出、点字版の配付も行っています。ご希望の方は社協までお問い合わせください。

ちょこっと 防災豆知識

～火災・防災を考える～ 防火訪問

毎年、消防署・太宰府市民生委員児童委員連合協議会・社会福祉協議会が協力して、市内の高齢者のみの世帯を対象に防火訪問を実施しています。本年度も秋季火災予防運動期間(11/9~11/15)に合わせて実施され、今回は9名の方を訪問しました。

室内の火気設備や暖房器具、住宅用火災警報機や消火器の設置場所などについて、一つひとつ丁寧に確認を行い、出火の原因となりやすいコンセント周囲の清掃のアドバイスなどを行いました。また、建物周辺に可燃物が放置されていないかなど、外回りも確認し、火災のリスク軽減に取り組みました。

また、本年度は防火訪問に合わせて「住宅用火災警報器等の配付モデル事業」が実施され、防火対策が不十分な世帯に対し、火災警報器や消火器、防炎製品(エプロン・アームカバー)などが配付されました。

あわせて緊急時の連絡先の確認等、同行いただいた民生委員さんとの情報交換もあり、高齢者の皆さんからは「今後、安心して生活できます」などの声をいただきました。



～火災のリスクはこんなところにも！～

大規模な地震などの発生後、停電が復旧する際、破損した電化製品や電気配線が通電時に発火し、散乱した室内で火災が発生する可能性があります！(=通電火災)

一通電火災の発生例一

- 地震で本棚が倒れ、電気ストーブ周辺に雑誌などが散乱。電気が復旧し、ストーブが作動した際に、付近にあった紙類に着火し火災が発生。
- 家具が転倒し、電気コードが下敷きになつたり引張により損傷。通電の瞬間コードがショートし、燃えやすいものが散乱した室内で発火。



通電火災を防ぐため、避難の際にはブレーカーを切り、電気を遮断しておきましょう！

社協ふくし 出前相談

地域で暮らす皆さんの福祉等に関する困りごとの相談を行うため、出前相談を実施します。

総合福祉センターまでは遠くて行けない、家の近くで気軽に相談できる場所が欲しい…そんな方々のために、身近な公共施設にて、民生委員・児童委員と社協職員が皆さんからの相談をお受けいたします。

相談できて助かったわ！



費用は一切かかりません。ご予約不要です。
どうぞお気軽にご相談ください。(秘密は厳守いたします。)

日 時	場 所
平成30年2月17日(土)10:00~15:00	いきいき情報センター 208号室 (太宰府市五条三丁目1番1号)
平成30年2月24日(土)10:00~15:00	文化ふれあい館 実習室2A (太宰府市国分四丁目9番1号)
平成30年3月 3日(土)10:00~15:00	いきいき情報センター 208号室 (太宰府市五条三丁目1番1号)
平成30年3月10日(土)10:00~15:00	太宰府南コミュニティセンター 会議室2 (太宰府市高雄二丁目3855番地)

※当日、会場まで出向くのが難しい方は、お電話でもご相談いただけます。(TEL:090-9795-8307)
ただし、上記の日程・時間帯以外は受付できませんのでご注意ください。

問い合わせ:太宰府市社会福祉協議会 TEL:923-3230



向佐野区 福祉の会

~“みんなでささえあう
あたたかい地域づくり”を目指して~
プロフィール

活動日 毎月第4火曜日 10:00~15:00

活動場所 向佐野区公民館

活動内容 9月お月見会、10月バスハイク、
3月お花見会、3か月毎の誕生日会(70歳以上)
その他、食事会、講話、映写会、体操など



▲ウェルカムボードでお迎え！

一言メッセージ

だれでも気軽に参加できる「みんなでささえあう あたたかい地域づくり」を目指しています！皆さんが今知りたいことや興味があることをテーマとした活動や、お互いに知識を高められるようなことを話し合いながら活動しています。皆さんのが笑顔”と“ありがとうございます、また来るね！！”の言葉で頑張れます！



▲スタッフの皆さんは昼食作りを。



▲今回は、ちくし法律事務所 さごた としきこ 登紀子さんによるエンディングノートについての講話です。



本日のメニューは
しょうがごはん、
きのこ汁、
ポテトサラダ、
大根と鶏肉の煮物
などです。

取材を終えて

終始とても和やかな雰囲気で、カメラを向けると皆さんニッコリと笑顔で応えてくださいました！参加された方の「皆さんと会えるのがうれしくて、参加すると元気が出ます。月に1回の楽しみになっています。」という言葉からも、皆さんにとっての素敵な居場所になっていることを感じました。これから活動がさらに充実するよう応援しています。(西校区担当 隅)

今月の オススメ

レクリエーション用具カタログ vol.12

小地域福祉活動(ひまわり会活動)や子育てサロン、自治会や福祉施設等が行う地域交流活動などに無料で貸出しています！

その他のレクリエーション用具については、ホームページにて写真付きで紹介しています。
(※QRコードは12ページにあります)

無料貸し出し

♪ニチレクボール(室内ペタンク)(在庫: 1セット)



- ルールはペタンクゲームと同様です。
- サークルの中に立って標的球に向かって、2チームがそれぞれ赤と青のボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競います。(椅子に座った状態でもOK！)
- 柔らかい特殊なボールを使用しますので、体育館や会議室などで床を傷めることなく楽しめます。

★利用を希望される方★

問い合わせ : 太宰府市社会福祉協議会

TEL:923-3230

社会福祉協議会の窓口まで印鑑をご持参の上、お越しください。(貸出中で在庫がない場合もございますので、事前にお問い合わせいただくことをおすすめします。)
※営利目的でのご利用は禁止しています。
※個人への貸出は行っておりませんので、ご了承ください。

観光地“太宰府”を美しく住み良い街へ 清掃ボランティア「太宰府を美しくする友の会」 第43回式典開催！



昨年11月24日(金)、プラム・カルコア太宰府にて「太宰府を美しくする友の会」第43回式典が開催されました。式典では、日頃の皆さんの活動をねぎらい、年間皆勤者に対する表彰と1年間の活動報告を行いました。

今年の年間皆勤者126名のうち、10年以上皆勤者11名・5年間皆勤者11名へ太宰府市長感謝状、3年間皆勤者12名へ社協会長感謝状、2年間皆勤者26名へ友の会会長感謝状が贈呈されました。

また、式典の最後には高山瑞夫さん、井上清孝さんによるステージショーが行われ、「仁和加踊り」や「脳トレ歌合戦」等を楽しみました。

一緒に活動しませんか？

「太宰府を美しくする友の会」は「お互いに助け合い、協力し合ってまちの美化に努め、清潔で住みよいまちづくり」を目標に活動をはじめ、今年で43年目を迎えました。

現在16団体が加入し、総勢約260名の会員が史跡地や公園、公民館など市内12か所を毎月清掃しています。

毎年11月には、1年間毎月活動に参加された方を表彰し、10年以上・5年・3年・2年皆勤の方には感謝状が贈呈されます。

新規加入団体や活動に参加してみたい方を随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

活動日時

原則第2日曜日
8時から1時間程度
(6~8月は朝7時より)
※清掃場所(清掃グループ)によって、異なる場合があります。



問い合わせ：太宰府を美しくする友の会事務局(太宰府市社会福祉協議会)TEL:923-3230

「介護のふれあい会」に参加してみませんか？



対象

- *現在介護をされている方
- *介護経験のある方
- *介護に関心のある方

内容

定例会ごとにテーマを決め、介護に関する勉強会や、介護の悩みを話し合う茶話会などをっています。

会費

年会費500円(見学者は無料)

※次回定例会テーマ「老いについて」

誰もが必ず迎える人生の最期に向けて、今後の人生をより豊かに、自分らしく生きるための心の在り方について、お話ししていただきます。

講師 宅老所「よりあいの森」
施設長 村瀬 孝生さん



場所 総合福祉センター 3階研修室

日時 平成30年3月5日(月)10:00~12:00

※見学も受け付けておりますので、どうぞお気軽に問い合わせください。

問い合わせ：太宰府市社会福祉協議会 TEL:923-3230 FAX:923-0578

社協サポーターズリレー

—社協の事業を支えてくれている皆さんを紹介—



第4回 ふくた たいすけ 福田 泰祐さん

社会福祉協議会の「移送サービス事業」の運転ボランティアとして、2008年よりご活躍いただいている福田さんにお話を伺いました。

運転ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

社協だよりのボランティア募集を見たのがきっかけです。2006年にうつ病を発症し、勤めていた児童福祉施設を退職しました。その後症状はなくなりましたが、すぐに仕事をするのは難しく、2008年の初めに社会復帰も兼ねて自動車学校に通い、大型免許を取得しました。何でも良かったのですが、人と関わるのがまだ怖かったので、学校という環境で少しずつ慣れていくければと。免許取得後は、福祉施設や病院の送迎の仕事を探しましたが、なかなか見つからなくて。だけど、何もしないのは自分にとっては良くないと思い、たまたま社協だよりで見つけた運転ボランティアならできそうだと思ったんです。ボランティアをやっていれば、何か今後に繋がるかもしれないとも思いました。



現在は平日お仕事をしながら週末にボランティアをされていますね。

ボランティアをしながら送迎の仕事を探しましたが、結局見つからなくて、そのうち自動車関係のアルバイトを始めることになりました。そこで4年半程勤めたのですが、次第にやりがいについて考えるようになり、児童福祉施設の同僚だった友人に話をしました。友人はその頃、精神保健福祉士として福祉施設に勤めていて「児童福祉施設でやってきたんだから、どこで働いても大丈夫だよ。」と背中を押してくれました。それで2014年に夜間の専門学校に1年間通って、精神保健福祉士の資格を取得したんです。

卒業後はご縁があって1年間福岡市内の精神障がい者の通所施設で働きました。そのうち、福岡市内の生活保護課に配置されている、在宅の精神障がい者の支援員をやらないかとお話をいただき、所属している法人からの出向という形で現在もその仕事をしています。平日の週4日は支援員の仕事、残りの1日は法人内の施設で勤務しているので、現在は土曜日だけボランティアをしています。



運転ボランティアをしていて印象に残っているエピソードがあれば教えてください。

自動車関係のアルバイトが決まったときに、そのことをある利用者さんにお話ししたら「おめでとうございます。良かったですね。」と言っていただいたんです。その言葉が本当に嬉しくて、自分にもそういう風に言ってくれる方がいるんだと目頭が熱くなりました。こういう方のお役に立てていて本当に良かったと思います。当時はまだ今後の生活が不安な時期だったので、本当に嬉しかったですね。

これまでの経験を通じて、今心掛けてのことや大切にしていることを教えてください。

日々、良いことがない、満たされないと感じている方もいると思いますが、自分が今できることを何か1つでも見つけられればいいと思います。ボランティアもその1つですね。「やらなければ」ではなくて、今はこれができる、ここまでできるという気持ちを持つことがモチベーションになります。また、何か1つ良かったなどということを見つけるのもいいですね。例えば、道端にきれいな花が咲いているとか。私は病気から回復する過程で、自然の移り変わり等が目に入ってくるようになり、周囲に目が向くようになりました。自分の周りが嫌なことばかりに思えても、探してみれば同じくらい良いこともあるはずだと思っています。

また、自分に“人生のものさし”があるように、他の人にも“ものさし”があって、社会はいろんな“人生のものさし”を持った人たちの人の集まりだと思ったことがあります。仕事でも、私から見えるのはその方の“人生のものさし”的ほんの一部、人生の一瞬でしかないということを考えます。だから、簡単にその方の生活の土俵に踏み込んで支援するのではなく、土俵の整備を心掛けて、土俵上で戦うのはその方自身なんだということを意識しています。

これまで色々なことがありました。経験したくてしたわけではなく、気が付いたらこういう人生になったという感じですが、様々なご縁から今の自分があるんだなと思います。

「移送サービス事業」運転ボランティア募集中！

身体障がい等により、公共交通機関の利用が困難な方に対し、通院や買い物などの外出を支援する「移送サービス事業」にて、運転ボランティアを募集しています。

活動内容 リフト付き車輛の運転（普通免許で運転可能）

簡単な車イス介助 ※見学・研修有り

活動日時 活動可能な日時で調整しますので、まずはご相談ください。
(運行日時：月～土曜日の 8:30～17:00 で依頼者の希望による)

問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 TEL:923-3230



社協事業の紹介 「手話奉仕員養成講座」 (太宰府市受託事業)



「手話奉仕員養成講座」は、障害者総合支援法に基づき各市町村が実施する地域生活支援事業の必須事業の1つです。聴覚障がいや手話に対する知識と理解を持った方々を養成することで、その活躍により社会的障壁を取り除き、手話で自由にコミュニケーションができる社会の実現を目指します。

太宰府市では社協が事業を受託し、「太宰府手話の会」の協力のもと、毎年5月に開講しています。

講習内容

厚生労働省策定の手話奉仕員養成カリキュラムに基づき、“入門編”と“基礎編”を実技40講座、特別講義6講座の全46講座で学びます。

- “入門編” 手話で自己紹介ができ、簡単な会話ができるこことを目指します。
- “基礎編” 聴覚障がい者と日常的な会話ができるこことを目指します。

※聞こえない講師と聞こえる講師がペアになって講習をします。

講座の一部をご紹介！



★第3講座「名前を紹介しましょう」

- 実技では、手話の基礎となる動きや表情によるコミュニケーション方法から学び、指文字や基本的な単語、簡単な会話、基本文法へとステップアップしていきます。
- 第3講座では、自分の名前の表し方やあいさつの手話を学びます。演習では、受講生がペアになり、お互いに自己紹介をしました。

講座を修了すると…

- 「太宰府手話の会」に入会することができます！ 研鑽を積みながら実際にボランティア活動をしてみましょう。
- 手話通訳者養成講座の受講を目指すこともできます！ ※手話通訳者養成講座(各都道府県・指定都市にて実施)を受講するためには、手話奉仕員養成講座を修了していること、日常的に手話サークル等で活動をしていること、手話検定2級以上に合格していること等が必要です。(福岡県の場合/都道府県・政令指定都市ごとに受講資格等が異なる場合がありますので、詳細は各実施元へご確認ください。)

平成30年度の受講者募集案内は、次号の社協だより「ふくしのひろば」(4月1日号)に掲載予定です。



★特別講義「聴覚障害の基礎知識」

- 特別講義では、聴覚障がい者の暮らしや手話の歴史、障がい者福祉の基本的な考え方や聴覚障がいに関する福祉制度等を学びます。
- 「聴覚障害の基礎知識」では、耳の構造や聞こえのしくみ、聴覚障がいに関する福祉制度や補聴器・人工内耳等について学びました。



講師のみなさん(開講式にて)

ボランティアみんなの掲示板

※1月15日現在の情報です。内容に変更や締切が生じている場合もあります。

※問い合わせ先の記載がないものは社会福祉協議会までご連絡ください。

問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:923-3230 FAX:923-0578



仲間を募集しています！

◆太宰府いきいきこども食堂

太宰府いきいきこども食堂は、こどもから高齢者まで誰でも、楽しく食事を味わっていただくために、呼び名を「いきいき食堂」としました。

「大勢で食べる楽しさを伝えたい！」を主旨に、食堂と遊びと学びの居場所作りを行っています。一緒に楽しく活動しませんか？

まずは、美味しい食事を味わいに来てください。



活動日時 毎月第2日曜日 9:30～15:00

場 所 太宰府市いきいき情報センター 和室・210号室

対 象 みんなでごはんを食べたい人誰でもです。

問い合わせ先

碇:携帯 070-5492-0056 米森:携帯 090-2512-2098

登録ボランティア団体のご紹介！



にこ 「二胡の会」

○活動内容

福祉施設や地域の公民館、国分寺等で二胡(中国の民族楽器)の演奏をしています。

演奏にあわせて、参加者の皆さんと一緒に合唱もできます。

出演の依頼はお気軽にご相談ください。

○一言メッセージ

中国の曲を弾いたり、四季折々の叙情歌などを皆様と歌って楽しく演奏しております。出演の依頼は、お気軽に社協までお問い合わせください。

手と心のふれあい40年 ～太宰府手話の会 創立40周年記念式典～

昨年11月25日(土)、太宰府手話の会創立40周年記念式典が太宰府館にて開催されました。

式典では、“40年間のあゆみ”として、これまでの足跡を写真と共に振り返るスライドショーのほか、“DSCファッションショー(太宰府手話の会コレクション)”では、手話の会の皆さんのがモデルとなり、歴代のユニフォーム等が披露されました。

また、九州大学ジャグリングサークル「9JUC」によるジャグリングショーでは、客席で皿回しリレーも行われ、会場が一体となりました。

太宰府手話の会の皆さんには、聴覚障がい者の福祉の向上を目的に、手話奉仕員養成講座や小学校の総合的な学習への授業協力、講演会やイベント等における手話通訳、観光手話案内など、この40年間各方面で精力的に活動を続けてきました。今後の活躍も期待しています。40周年おめでとうございます！



社会福祉協議会立
保育所
太宰府園だより

おいしい たのしい もちつき会

新園舎になって、初めてのもちつき会を実施しました。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんもたくさんご参加頂きました。返しが上手なおじいちゃんがいたり、子ども達の声援を受け、力強くつくお父さんの姿がありました。また、給食の先生がつくってくれたおいしい豚汁やお芋をみんなで食べて心も身体もほっこり!! おしゃべりにも花が咲き笑顔あふれるもちつき会となりました!!



お味噌づくりに 挑戦



くま組（5歳児）は、

2日間にわたってお味噌づくりに取り組みました。
1日目は、大豆を洗い水にひたし1晩寝かせます。
2日目は水をたっぷり含んだ大豆を煮て、いよいよお味噌づくりです。園長先生につくり方を教えて頂き、初めての体験に子どもたちもワクワクしながら行いました。

出来上がったお味噌は卒園みそとして頂きます。保育所の子どもたちにも、みそ汁を振る舞う予定です。

おいし～！



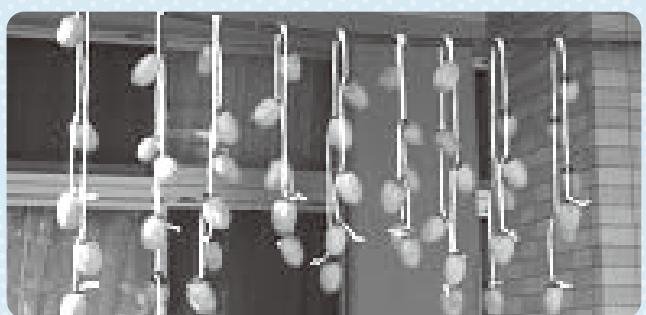
干し柿づくり



冬の風物詩 といえば、家の軒先につらなっている干し柿があります。今では、珍しくなりました。保育所では、日本の食文化を大事にし、今年も干し柿作りに挑戦しました。

子どもたちは、日を追うごとに細くなる様子を眺めながら、いつになったら食べられるのだろうと見てています。

体験を通して、変化する様子、味など気づきを学ぶ機会となりました。



第1回太宰府障がい者ボッチャ交流会開催

昨年12月2日(土)とびうめアリーナ(総合体育館)において第1回太宰府障がい者ボッチャ交流会が開催されました。

当日は、太宰府市内在住及び市内の施設や支援学校に通っている障がい者と彼らを日頃から支援してくださる方々が全部で16チーム(3人1チームで登録)が競技に参加、審判員や会場係などのボランティアを太宰府市スポーツ推進員、市役所職員、民生委員、筑紫女子大学の学生さんなどが担当、選手の家族や職場の応援団などを含め総勢110人余が参加しました。

選手として参加した筑紫台高等学校の生徒さんには「目隠し」や「軍手」などを着用してもらい障がい者の日頃の不自由を感じながら体験参加してもらいました。「ボッチャ」は昨年のリオ・パラリンピックで日本チームが銀メダルを獲得したため一躍有名になりました。もともとはイタリアで始まった競技で脳性まひなど重度障がい者の参加を可能にするために開発されたスポーツだそうです。この日も障害の部位や程度に関係なく誰でもやれるスポーツとしてのボッチャを楽しみました。ボランティア参加の皆さんありがとうございました。

(NPO法人太宰府障害者団体協議会)



♣ 太宰府市立老人福祉センター♣

老人福祉センターは、市内に居住する高齢者の教養、健康等福祉の増進を図ることを目的として設置されています。

場 所 太宰府市白川2番3号 TEL:923-3230
「市役所前」バス停から 徒歩約5分
男女共同参画推進センター ルミナスの隣

対象者 おおむね60歳以上の方で、介助の必要のない方

開館日 月～土曜日 9:30～16:30
(お風呂 10:00～15:30)

休館日 日曜・祝祭日・年末年始(12/28～1/4)及びセンター指定日

料 金

入館料	60歳以上	60歳未満	
市 内	100円	200円	
市 外	200円	200円	
特別利用券 (市内60歳以上の方が 対象となります。)	3ヶ月 2,000円	半年 3,500円	年 間 6,000円
ヘルストロン使用料	50円(入館料別)		

*駐車場に限りがありますので、公共交通機関等をご利用のお越しください。

お役立ち講座開催
～いきいき元気健康体操～
～体がぽかぽか！体が軽くなった！～

講 師 スポーツ推進委員
なんばひさご
難波寿子さん

日 時 平成30年2月20日(火)
11:00～12:00

場 所 太宰府市老人福祉センター
2階 大広間

参加費 無料

*ただし、入館料は別途いただきます。



ペットボトルのキャップ
空き缶のプルタブ回収への
ご協力、誠にありがとうございます。

昨年は、五条台子ども会様、太宰府西小学校様、水城西小学校様、太宰府西中学校生徒会様、学業院中学校様、長浦台自治会様、水城台自治会様をはじめ、多くの団体、学校、市民の皆様より「福祉のために」と心温まるご協力をいただいています。

ペットボトルキャップは2kg(約800個)でポリオワクチン1人分になり世界の子どもにワクチンを日本委員会(JVC)を通して世界の子どもたちに贈られます。

空き缶のプルタブは、600kg(約160万個)でアルミ製車イス1台と交換できますので、集まり次第交換させていただき、障がいをお持ちの方や高齢者の方に貸出を行います。

実績報告【平成29年11月末累計】

ペットボトルのキャップ 約3,670kg = ワクチン1,835人分

空き缶のプルタブ 約509kg = 車いす購入まであと91kg

賛助会(新規・継続) 加入のお願い!

「共生と共創のまちづくり」の実現のため、市民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

平成29年度ご加入いただきました皆さん、誠にありがとうございます。

この紙面にて、お礼にかえさせていただきます。

【平成29年12月末現在】

	件 数	金 額
特別賛助会費	46件	490,000円
一般賛助会費	812件	1,015,333円
合 計	858件	1,505,333円

一般賛助会費	1口	1,000円
特別賛助会費	1口	10,000円

○賛助会員加入手続き

- ◆当社会福祉協議会の窓口にて、加入の受付をしています。
- ◆お電話いただければ、加入手続きに自治会等の例会やひまわり会・サロン等、ご指定の場所に職員がお伺いします。

- ◆金融機関から振込をしていただくこともできます。

振込口座

筑紫農協 太宰府中央支店 普通 No.0033326

口座名義

しゃかいふくし ほうじん ださいふしあいふくしきょうぎかい
社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会

*いただいた会員様の個人情報は、賛助会の目的以外に利用することはありません。

問い合わせ TEL:923-3230(担当:総務課)

寄付のお礼 平成29年11月1日～平成29年12月15日

寄付者名	行政区分	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	寄付者名	行政区	香典返し寄付
筑紫野市 春日遊技場組合様	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市 筑紫遊技場組合様	太宰府市 太宰府市	太宰府市 母子寡婦会様	太宰府市 運合会様	株式会社筑紫ビル管理様	向佐野区	宮原妻様	五条区	宮原父様	中島國父区	中島圓吉様	中島照子様	中原妻様	柳寺区忠臣様	中原照子様
筑紫野市 春日遊技場組合様	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市 筑紫遊技場組合様	太宰府市 太宰府市	太宰府市 母子寡婦会様	太宰府市 運合会様	株式会社筑紫ビル管理様	向佐野区	宮原妻様	五条区	宮原父様	中島國父区	中島圓吉様	中島照子様	中原妻様	柳寺区忠臣様	中原照子様
筑紫野市 春日遊技場組合様	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市 筑紫遊技場組合様	太宰府市 太宰府市	太宰府市 母子寡婦会様	太宰府市 運合会様	株式会社筑紫ビル管理様	向佐野区	宮原妻様	五条区	宮原父様	中島國父区	中島圓吉様	中島照子様	中原妻様	柳寺区忠臣様	中原照子様
筑紫野市 春日遊技場組合様	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市 筑紫遊技場組合様	太宰府市 太宰府市	太宰府市 母子寡婦会様	太宰府市 運合会様	株式会社筑紫ビル管理様	向佐野区	宮原妻様	五条区	宮原父様	中島國父区	中島圓吉様	中島照子様	中原妻様	柳寺区忠臣様	中原照子様

太宰府市総合福祉センター

～福祉に関する会議や研修等にご利用されませんか～

場所 太宰府市白川2番10号 開館日 月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで

休館日 日曜・祝祭日・年末年始(祝日及び12月28日～1月4日)他センター指定日

料金 使用料金:1時間あたり(営利目的の場合は2倍の料金になります)

部屋名称	基本料	冷暖房料	定員
相談室(右・左)	1,000円	500円	4名
和室	500円	500円	25名
料理室	1,000円	1,000円	25名
ボランティア室	1,000円	500円	25名
研修室	1,000円	1,000円	25名
大会議室	2,000円	1,500円	80名



※駐車場に限りがありますので、公共交通機関等をご利用の上お越しください。

問い合わせ 〒818-0102 太宰府市白川2番10号 社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会
TEL:923-3230 FAX:923-0578 担当/総務課

総合無料相談

場所 太宰府市総合福祉センター 1階相談室
(太宰府市白川2番10号)

問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 TEL:923-3230

お気軽に
ご相談下さい！



名称	日程	時間	内容	予約
一般相談	第1～第4水曜日・金曜日	10:00～15:00	心配ごとや悩みごと何でも相談	不要
行政相談	第1金曜日	10:00～15:00	国・県・市町村など行政に関する相談	不要
結婚相談	第1・第3土曜日	10:00～15:00	結婚に関する相談	不要
障がい者相談	第2木曜日	10:00～12:00	障がい者福祉に関する相談	不要
弁護士相談	第2火曜日 第4土曜日	13:00～16:00	法律に関する相談(相談時間30分)	要予約 (15日前から受付)
暮らしの相談	第2土曜日	13:00～16:00	遺言・相続・離婚・消費生活トラブル等に関する相談 (相談時間30分)	要予約 (15日前から受付)
あんしん相談	第3木曜日	13:00～16:00	成年後見制度に関する相談(相談時間60分)	要予約 (随時)

太宰府市社協の広報誌「福祉のひろば」に 広告を出してみませんか？

フルカラー掲載なので、お店や事業の紹介にピッタリ！
市内全戸配布（約29,000部発行）で
PR効果抜群です！

お問い合わせは太宰府市社会福祉協議会まで
TEL:092-923-3230



「ふくしのひろば」設置箇所を拡大中！

喫茶店や美容室、病院の待合室など、
「ふくしのひろば」を気軽に手に取って
いただけるよう、設置箇所を拡大中です！
ぜひご協力をお願いします！

連絡はこちらまで！ TEL : 923-3230



社会福祉法人
太宰府市社会福祉協議会

賛助会加入のお願い！

～「共生と共創のまちづくり」の理念のもと、身近に参加できる地域福祉活動の基盤づくりを
資金面からご支援いただく貴重な事業財源が「賛助会費」です～

社会福祉協議会の地域福祉推進活動にご賛同頂ける個人・商店・企業様に賛助会への加入をお願いしています。皆さまから頂戴する会費を小地域福祉活動・ボランティア活動などの事業や福祉サービス事業など「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるための大変な財源とさせて頂いております。

会員特典

車いす



近所への散歩やお出かけ、ちょっとしたお買いもの、一時的な病気やケガ、介護保険利用までのつなぎ期間で、車いす・電動ベッドが必要となった際に最長6ヶ月を限度に貸出を行っています。
(数に限りがございますので、まずはご相談ください。)



福祉バス

太宰府市内の福祉団体の健全育成や地域福祉活動の増進を図ることを目的に福祉バスを運行いたします。
(※観光、お買い物、送迎目的でのご利用はできません。)

社会福祉協議会事業の一例（事業費の一部に賛助会費を使わせていただいている。）

小地域福祉活動～隣近所のつながりを深めるために～

行政区（小地域）を単位として、そこに生活する住民が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、“困ったときはお互い様”的な気持ちで支え合う自主的な活動です。

現在、太宰府市内には42行政区で「ひまわり会」が組織され、その地域の実情に応じた活動が展開され、その活動を支援しています。

総合相談～ひとりで悩まず、安心してご相談ください～

生活上のいろいろな問題をひとりで、悩まず安心してご相談できるよう各種相談事業を実施しています。

相談日は「ふくしのひろば」をご覧ください。 *一般相談 *行政相談 *結婚相談 *障がい者相談

*弁護士相談（注1） *あんしん相談（注1・2） *くらしの相談（注1・3）

（注1）予約が必要です。（注2）成年後見制度、財産管理、財産保全等の相談（注3）行政書士による相談

広報誌「ふくしのひろば」の発行

広報誌「ふくしのひろば」を発行し、本会が実施している事業活動等の報告やさまざまな情報提供を行っています。
平成30年度は年6回発行予定です。

賛助会加入方法について

賛助会ご加入の手続きは社会福祉協議会窓口にて受付しています。

毎週月曜日～土曜日（祝日・年末年始12月29日～1月3日を除く）8:30～17:00

お電話いただければ、本会職員が地域活動の定例会やご自宅までご説明・お手続きにお伺いさせていただきます。

一般賛助会員
年会費

1口 1,000円

特別賛助会員
年会費

1口 10,000円

申込み
問い合わせ

〒818-0102 太宰府市白川2番10号 太宰府市総合福祉センター内
社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会 TEL:092-923-3230 FAX:092-923-0578

発行

社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会

〒818-0102 福岡県太宰府市白川2番10号
TEL:092-923-3230 FAX:092-923-0578
Mail:dazaifushakyo-goiken@extra.ocn.ne.jp

配信

ホームページもご覧下さい

太宰府市社会福祉協議会 | 検索
右のQRコードからも、太宰府社協の
ホームページへ簡単にアクセスできます！

